

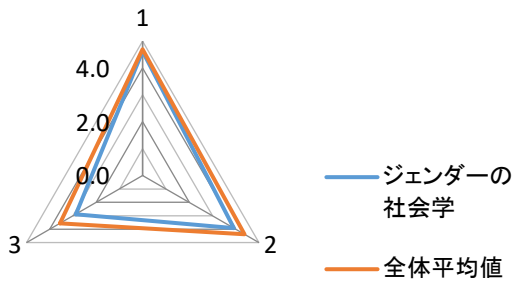
令和2年度第2学年前期「ジェンダーの社会学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
60	24	40%

実施日(2020年7月7日～9日)

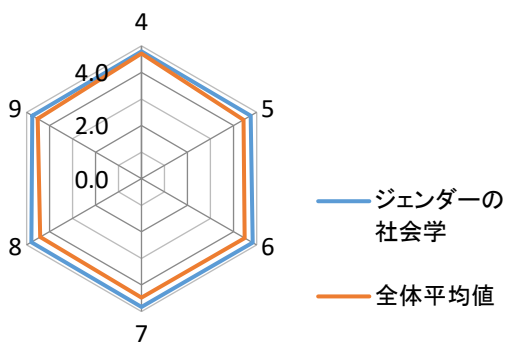
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	ジェンダーの社会学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	3.9	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	2.9	3.6	2.8	5.0

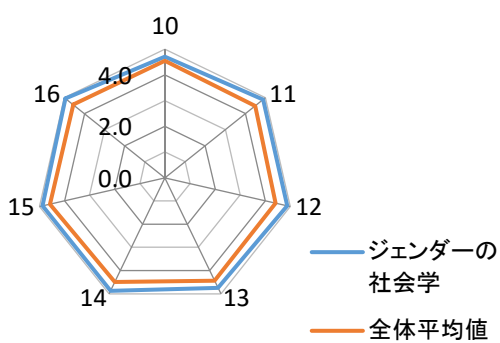
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	ジェンダーの社会学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	ジェンダーの社会学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.9	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.6	4.0	5.0

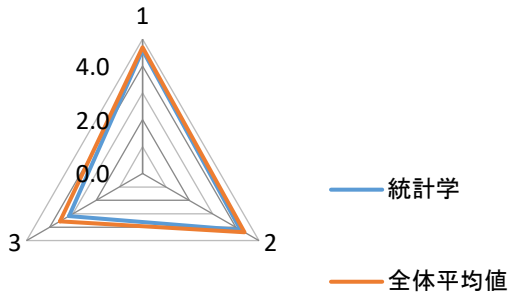
令和2年度第2学年前期「統計学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	54	57%

実施日(2020年7月6日～8日)

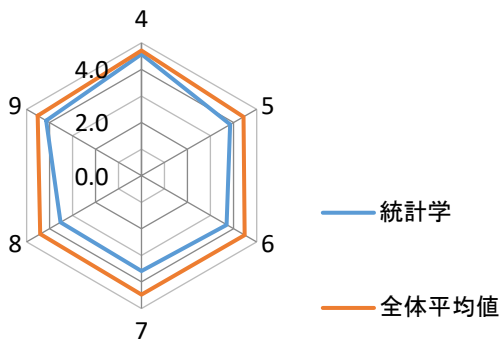
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	統計学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.2	3.6	2.8	5.0

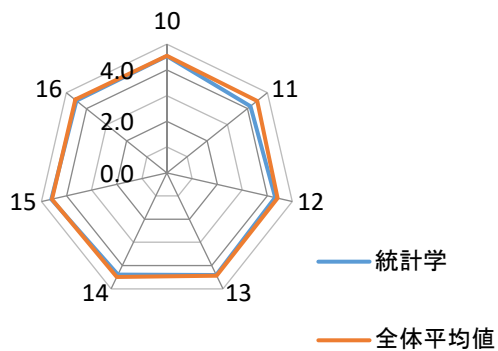
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	統計学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.9	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.7	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	3.6	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	3.5	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.1	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	統計学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.1	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.4	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.4	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.5	4.6	4.0	5.0

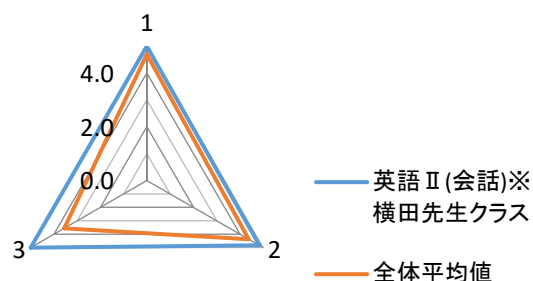
令和2年度第2学年前期「英語Ⅱ(会話)※横田先生クラス」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
10	5	50%

実施日(2020年8月13日～15日)

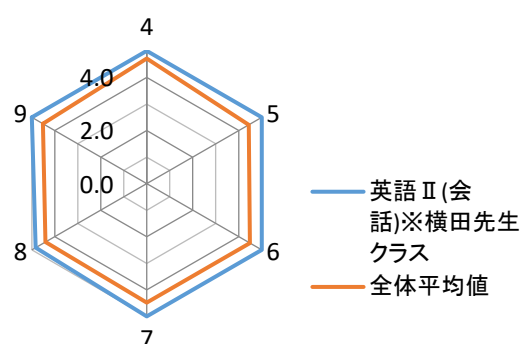
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	英語Ⅱ(会話)※横田先生クラス	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.8	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	5.0	3.6	2.8	5.0

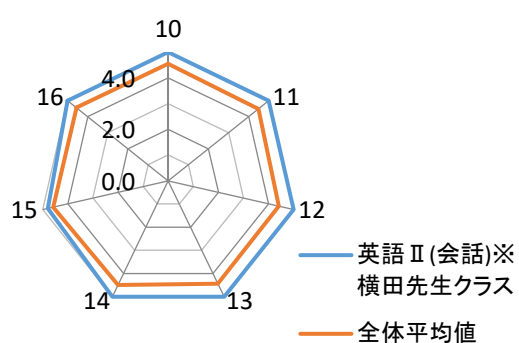
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	英語Ⅱ(会話)※横田先生クラス	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	5.0	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	英語Ⅱ(会話)※横田先生クラス	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.6	4.0	5.0

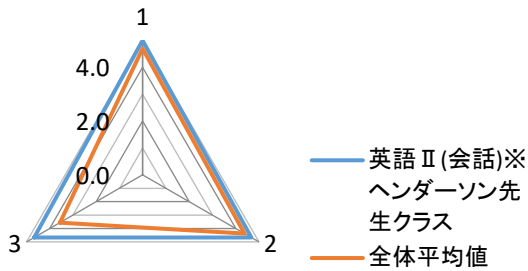
令和2年度第2学年前期「英語Ⅱ(会話)※ヘンダーソン先生クラス」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
5	3	60%

実施日(2020年8月13日～15日)

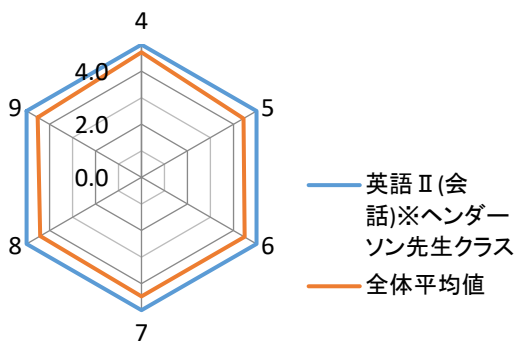
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	英語Ⅱ(会話)※ヘンダーソン先生クラス	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.7	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.7	3.6	2.8	5.0

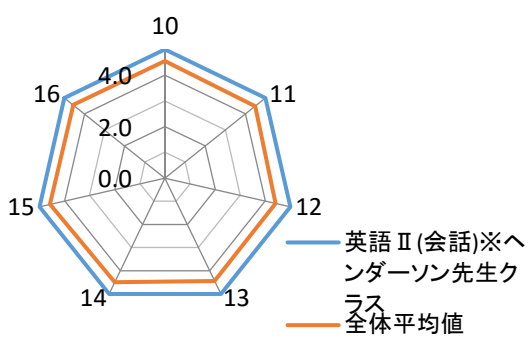
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	英語Ⅱ(会話)※ヘンダーソン先生クラス	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	5.0	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	5.0	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	英語Ⅱ(会話)※ヘンダーソン先生クラス	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.6	4.0	5.0

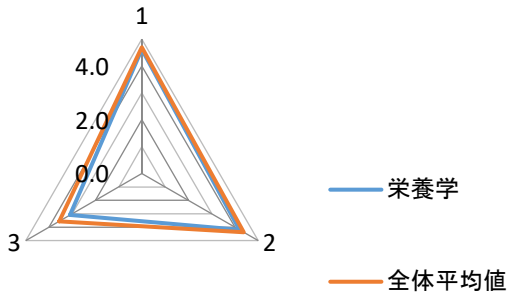
令和2年度第2学年前期「栄養学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	53	55%

実施日(2020年7月6日～8日)

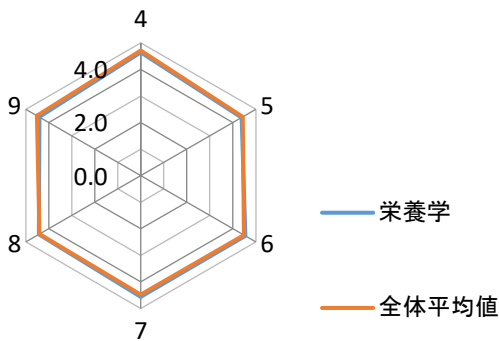
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	栄養学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.6	2.8	5.0

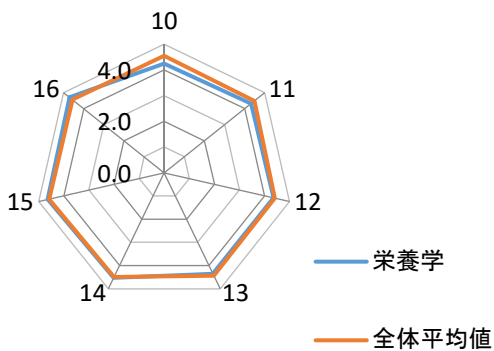
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	栄養学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	栄養学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.2	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.4	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.5	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.6	4.0	5.0

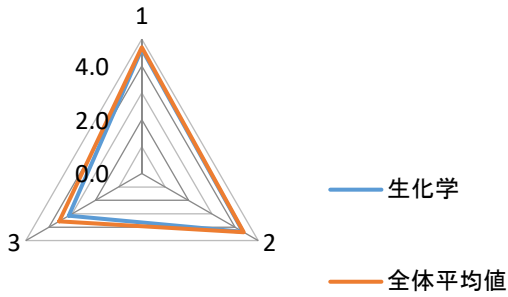
令和2年度第2学年前期「生化学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	41	43%

実施日(2020年7月9日～11日)

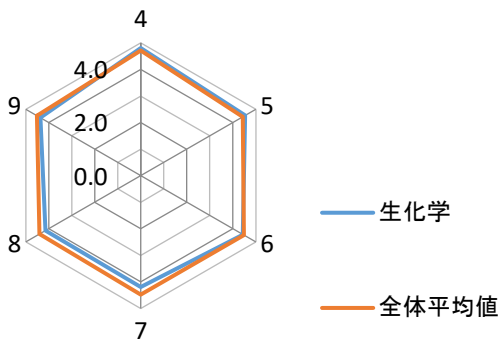
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生化学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.6	2.8	5.0

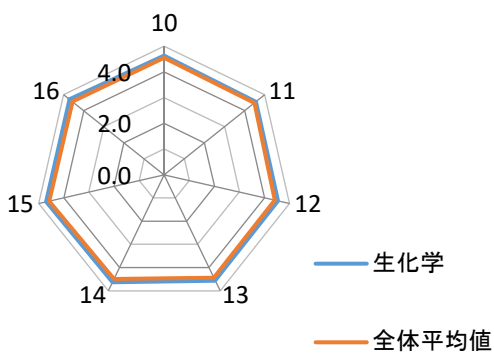
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	生化学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.4	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.2	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.1	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生化学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.6	4.0	5.0

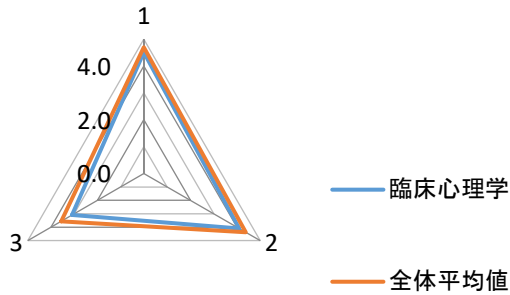
令和2年度第2学年前期「臨床心理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	43	45%

実施日(2020年7月9日~11日)

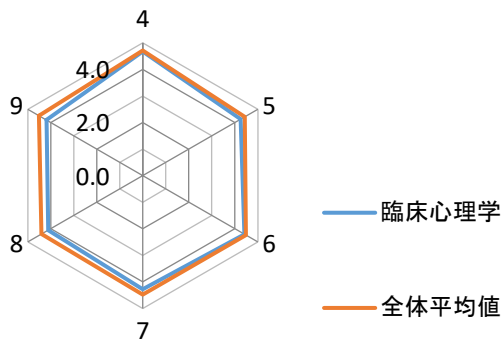
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	臨床心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.5	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.6	2.8	5.0

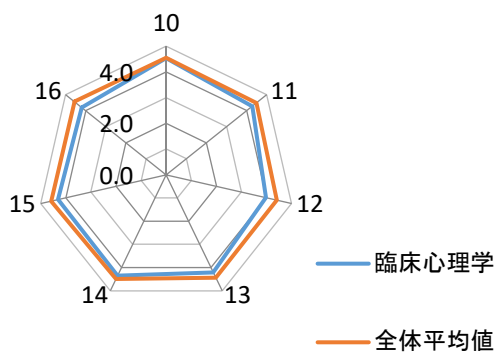
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	臨床心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.4	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.1	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.2	4.5	4.1	5.0
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.2	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	臨床心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.2	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.3	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.2	4.6	4.0	5.0

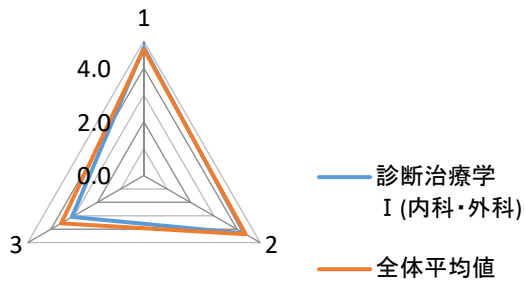
令和2年度第2学年前期「診断治療学 I (内科・外科)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
102	42	41%

実施日(2020年7月29日～31日)

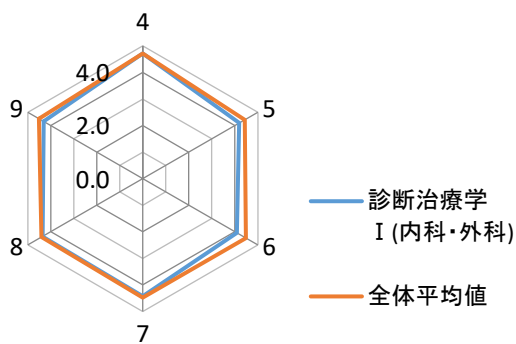
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	診断治療学 I (内科・外科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.6	2.8	5.0

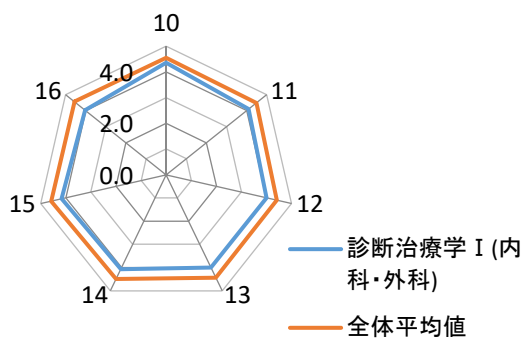
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	診断治療学 I (内科・外科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.2	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.1	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	診断治療学 I (内科・外科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.1	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.0	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.1	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.0	4.6	4.0	5.0

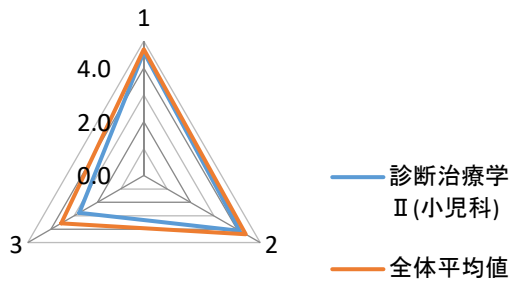
令和2年度第2学年前期「診断治療学Ⅱ(小児科)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	59	62%

実施日(2020年7月3日～5日)

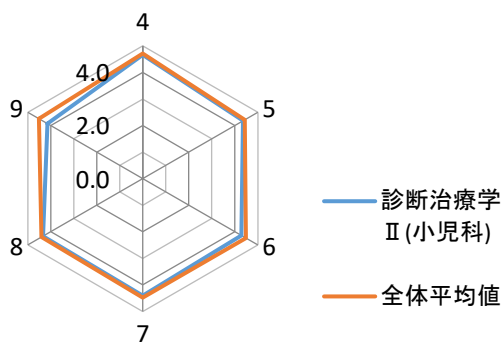
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	診断治療学Ⅱ(小児科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	2.8	3.6	2.8	5.0

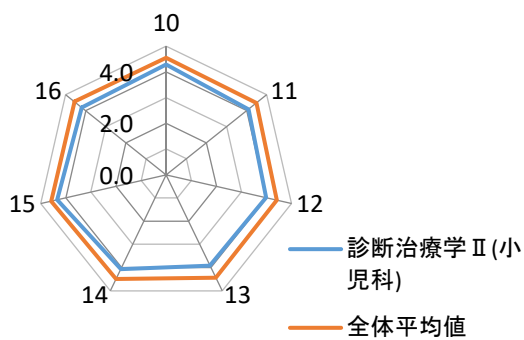
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	診断治療学Ⅱ(小児科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.3	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.2	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	診断治療学Ⅱ(小児科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.1	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	3.9	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.1	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.2	4.6	4.0	5.0

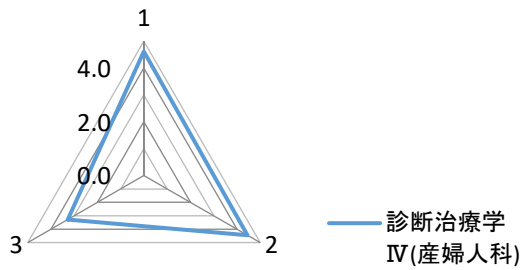
令和2年度第2学年前期「診断治療学Ⅳ(産婦人科)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	47	49%

実施日(2020年7月8日～10日)

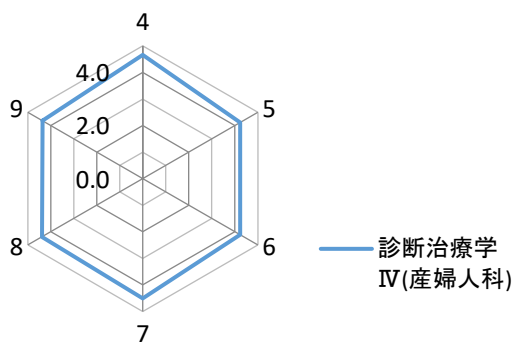
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	診断治療学Ⅳ(産婦人科)
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.4
3 教員に授業内容について質問した。	3.3

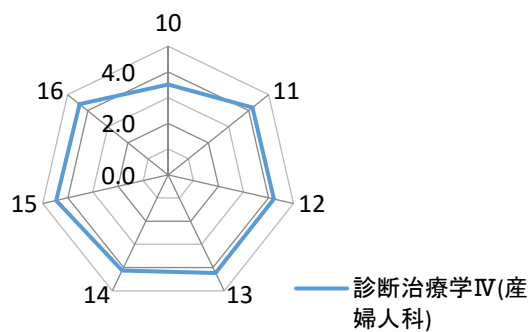
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	診断治療学Ⅳ(産婦人科)
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.2
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.2
7 授業内容に興味を持てた。	4.5
8 知的好奇心が刺激された。	4.4
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	診断治療学Ⅳ(産婦人科)
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.5
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.2
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.2
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.1
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4

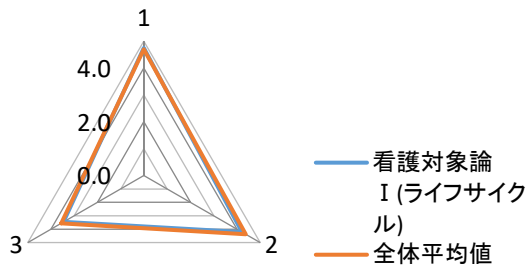
令和2年度第2学年前期「看護対象論 I (ライフサイクル)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	24	26%

実施日(2020年8月13日～15日)

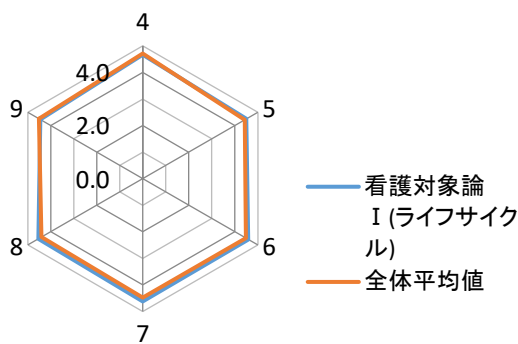
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護対象論 I (ライフサイクル)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.2	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.5	3.6	2.8	5.0

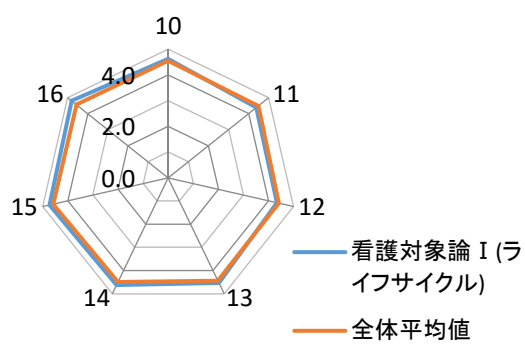
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護対象論 I (ライフサイクル)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護対象論 I (ライフサイクル)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.6	4.0	5.0

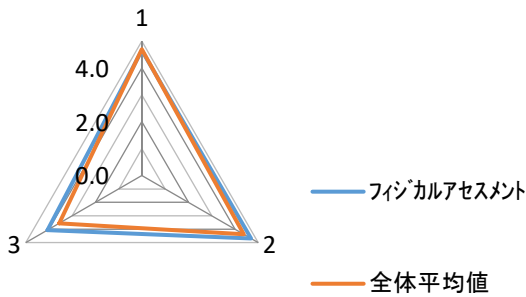
令和2年度第2学年前期「フィジカルアセスメント」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	32	34%

実施日(2020年8月25日～27日)

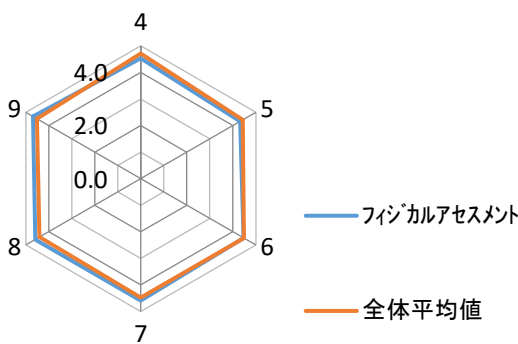
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	フィジカルアセスメント	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.7	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.1	3.6	2.8	5.0

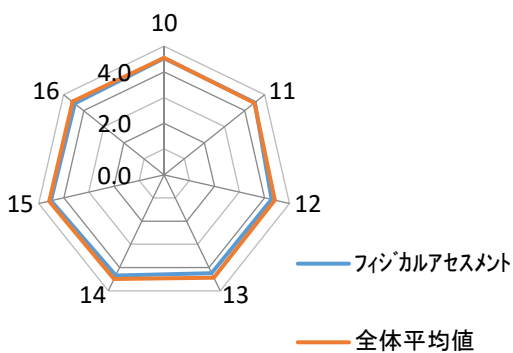
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	フィジカルアセスメント	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.5	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	フィジカルアセスメント	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.3	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.6	4.0	5.0

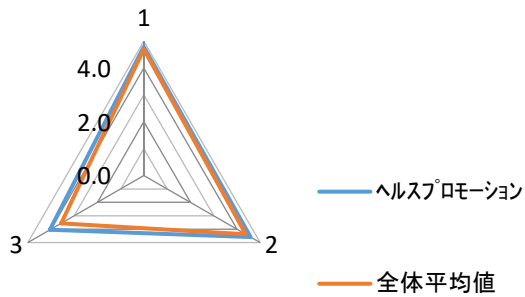
令和2年度第2学年前期「ヘルスポモーション」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	43	45%

実施日(2020年7月17日～19日)

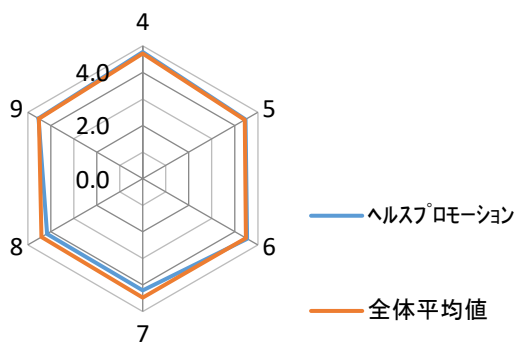
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	ヘルスポモーション	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.0	3.6	2.8	5.0

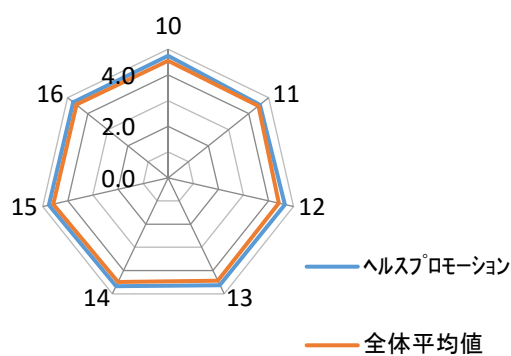
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	ヘルスポモーション	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.2	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.2	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	ヘルスポモーション	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.6	4.0	5.0

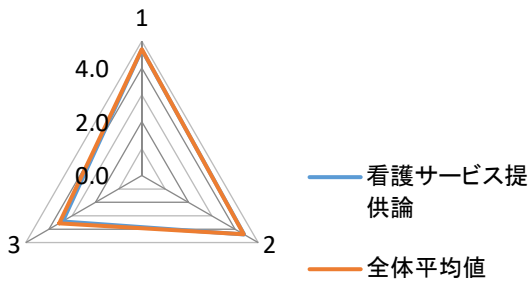
令和2年度第2学年前期「看護サービス提供論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	54	57%

実施日(2020年7月6日～8日)

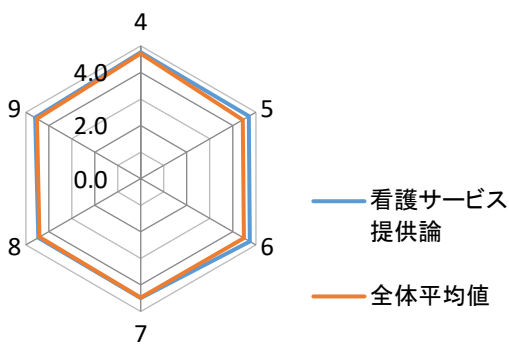
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護サービス提供論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.4	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.4	3.6	2.8	5.0

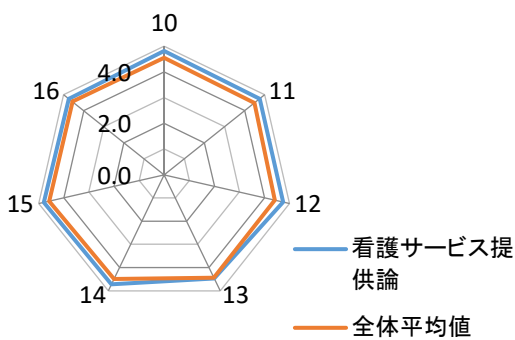
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護サービス提供論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.7	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護サービス提供論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.6	4.0	5.0

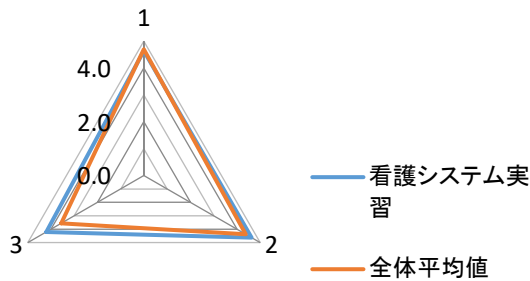
令和2年度第2学年前期「看護システム実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	80	84%

実施日(2020年6月19日～21日)

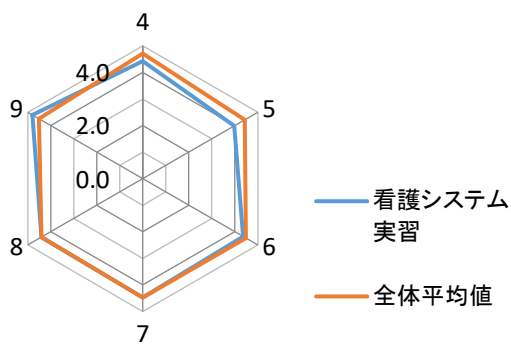
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護システム実習	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.4	3.9	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.2	3.6	2.8	5.0

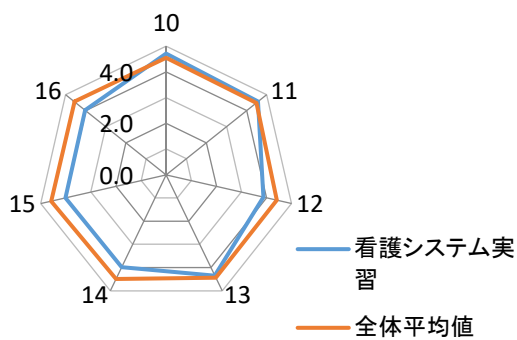
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護システム実習	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.4	4.7	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.4	3.9	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.4	4.5	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.5	3.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.4	3.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.5	4.1	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護システム実習	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.5	3.5	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.5	4.1	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.9	4.4	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.4	4.4	3.9	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.0	4.5	4.0	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.6	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.0	4.6	4.0	5.0

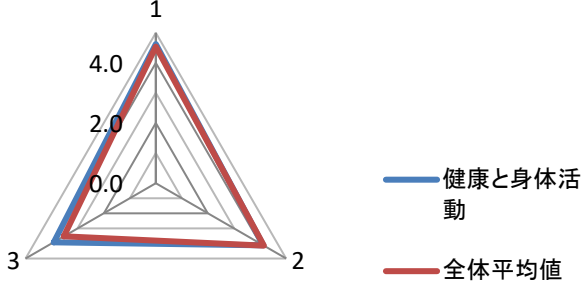
令和2年度第2学年後期「健康と身体活動」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	24	25%

実施時期(令和3年1月7日～令和3年2月19日)

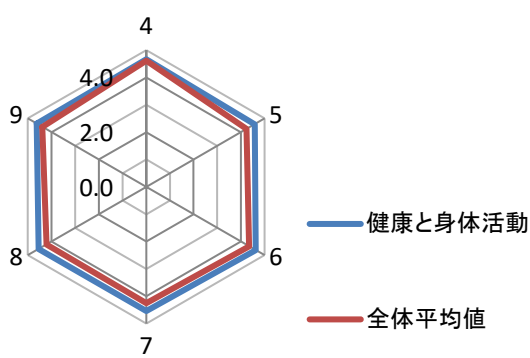
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	健康と身体活動	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.9	3.5	2.8	4.4

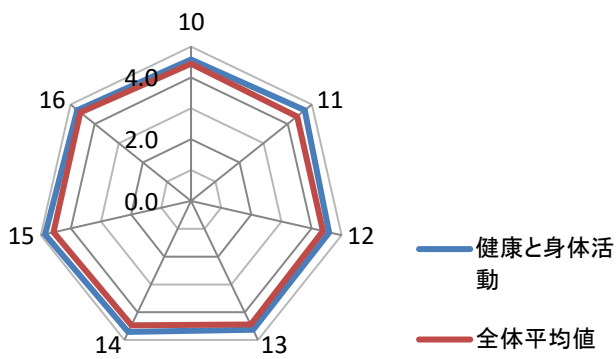
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	健康と身体活動	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	健康と身体活動	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.6	3.7	4.9

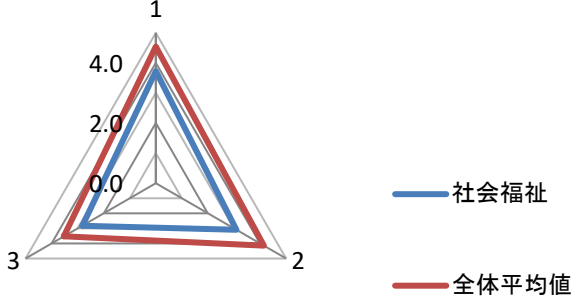
令和2年度第2学年後期「社会福祉」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
45	11	24%

実施時期(令和2年12月21日～令和3年2月19日)

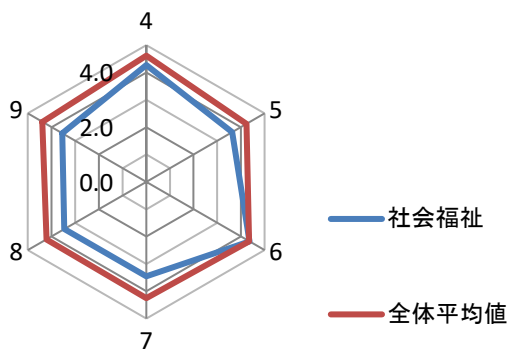
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	社会福祉	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	3.7	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.1	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	2.8	3.5	2.8	4.4

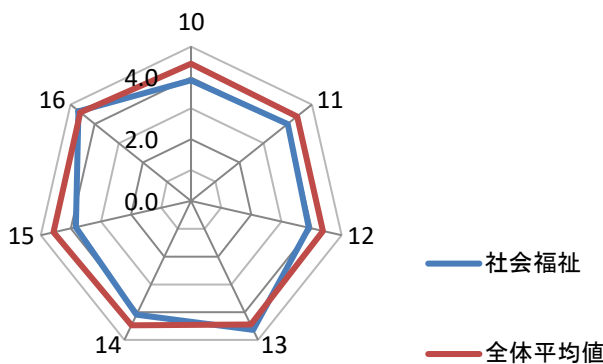
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	社会福祉	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.3	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.6	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.4	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	3.5	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	3.5	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	3.5	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	社会福祉	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.9	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.0	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.9	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.1	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	3.8	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.6	3.7	4.9

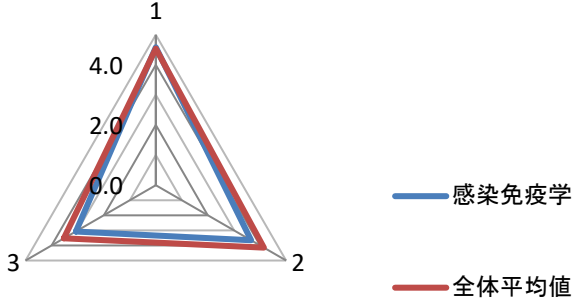
令和2年度第2学年後期「感染免疫学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	29	31%

実施時期(令和2年11月24日～令和3年2月19日)

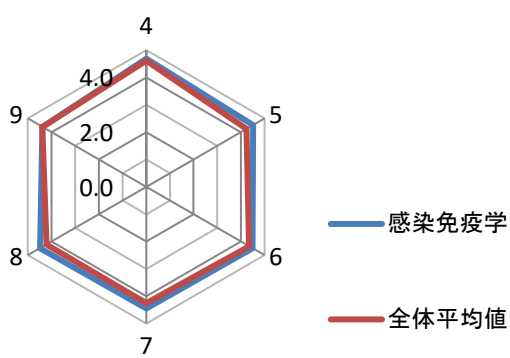
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	感染免疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.7	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.5	2.8	4.4

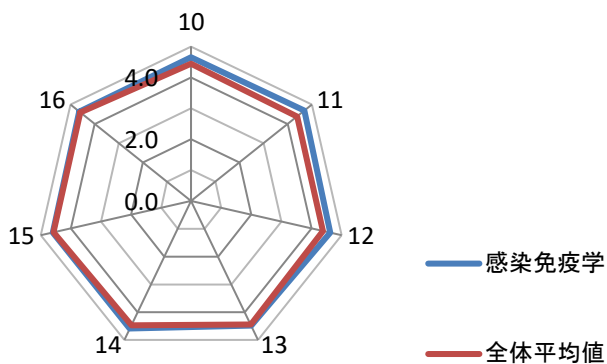
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	感染免疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.5	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	感染免疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.6	3.7	4.9

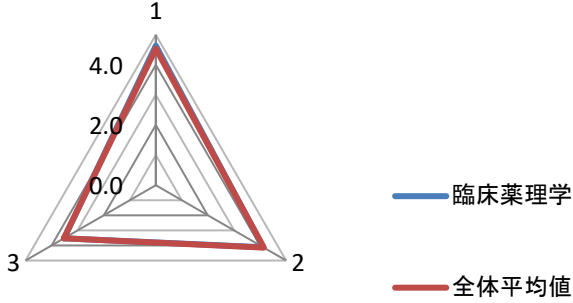
令和2年度第2学年後期「臨床薬理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
97	25	26%

実施時期(令和2年12月21日～令和3年2月19日)

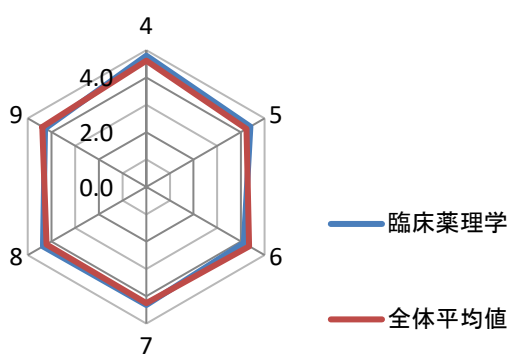
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	臨床薬理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.5	3.5	2.8	4.4

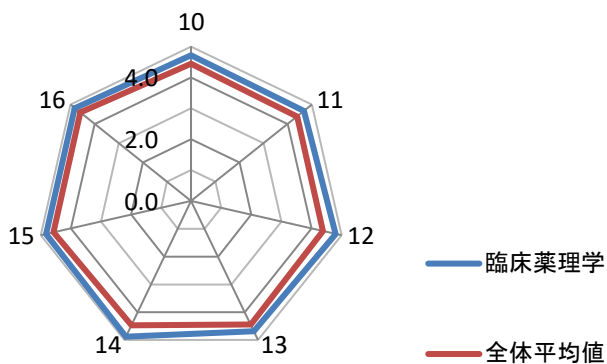
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	臨床薬理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.1	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	臨床薬理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.9	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.6	3.7	4.9

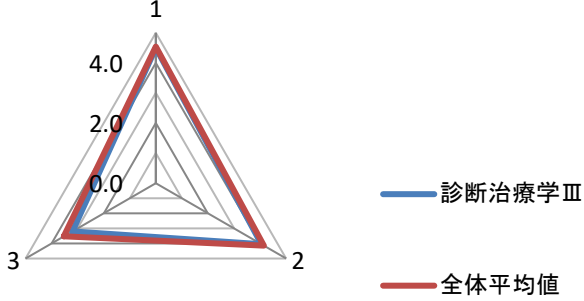
令和2年度第2学年後期「診断治療学Ⅲ」(精神科)授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	20	21%

実施時期(令和2年11月30日～令和3年2月19日)

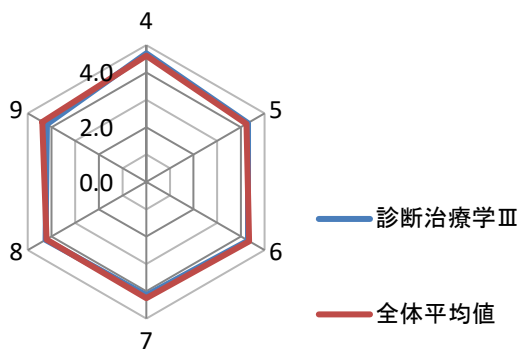
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	診断治療学Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.5	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.2	3.5	2.8	4.4

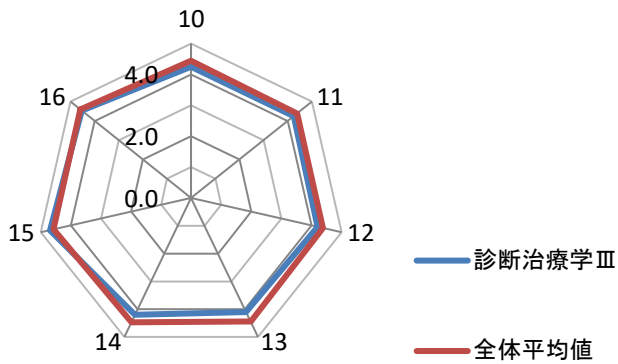
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	診断治療学Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.2	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.2	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	診断治療学Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.1	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.2	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.5	4.6	3.7	4.9

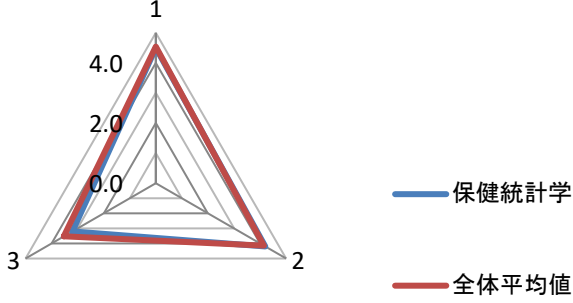
令和2年度第2学年通年「保健統計学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	10	11%

実施時期(令和2年12月25日～令和3年2月19日)

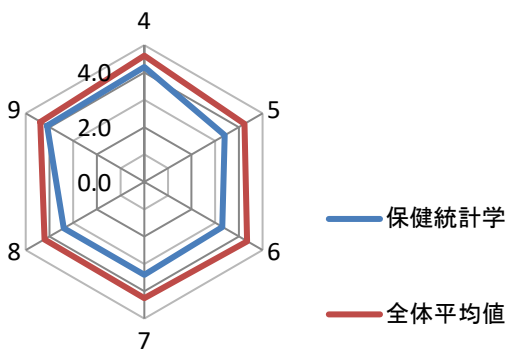
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	保健統計学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.5	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.2	3.5	2.8	4.4

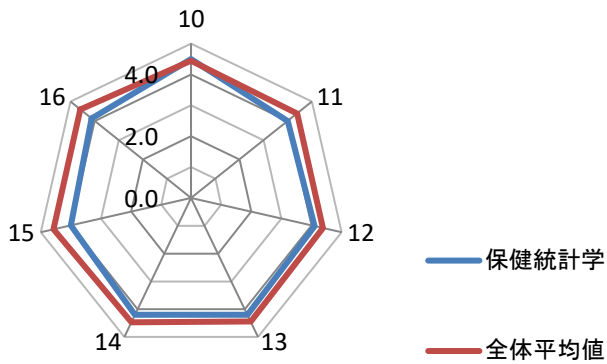
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	保健統計学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.2	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.4	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.3	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	3.4	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	3.4	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.1	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	保健統計学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.0	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.1	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.2	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.2	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.1	4.6	3.7	4.9

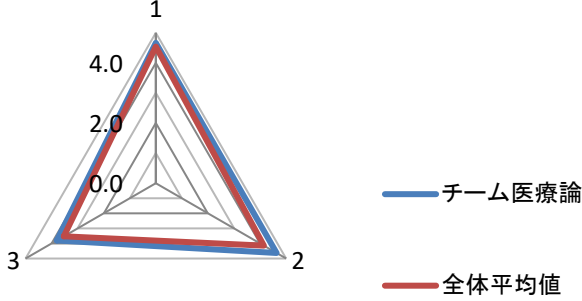
令和2年度第2学年後期「チーム医療論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	30	32%

実施時期(令和2年10月21日～令和3年2月19日)

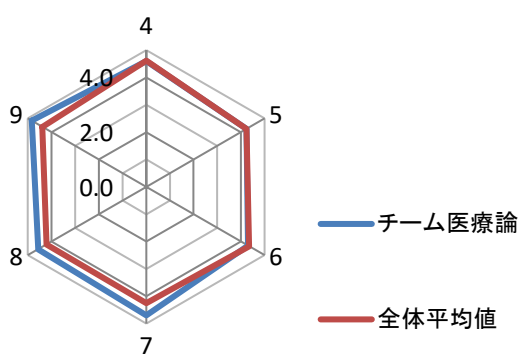
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	チーム医療論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.8	3.5	2.8	4.4

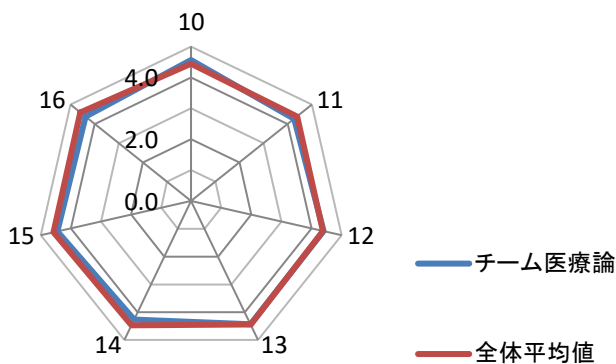
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	チーム医療論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.2	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	チーム医療論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.4	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.3	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.6	3.7	4.9

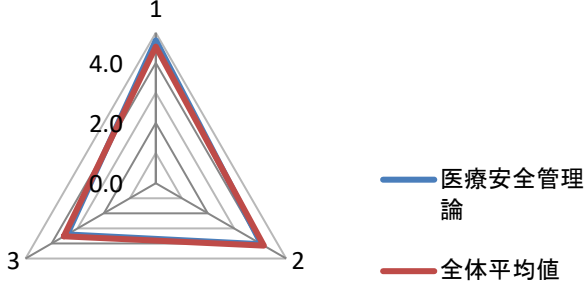
令和2年度第2学年後期「医療安全管理論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	20	21%

実施時期(令和2年11月25日～令和3年2月19日)

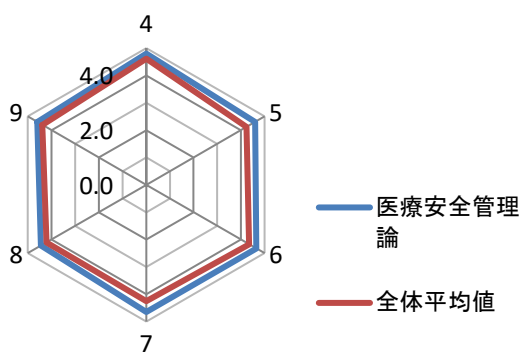
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	医療安全管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.4	3.5	2.8	4.4

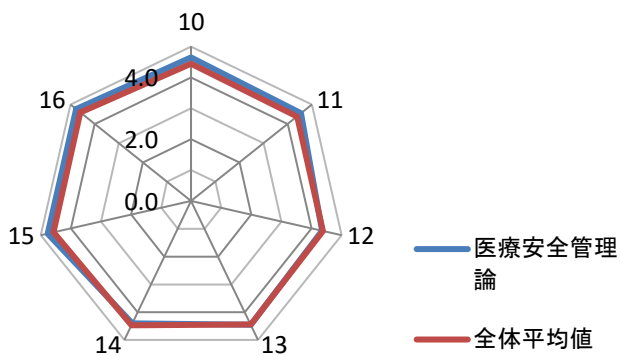
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	医療安全管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	医療安全管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.4	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.6	3.7	4.9

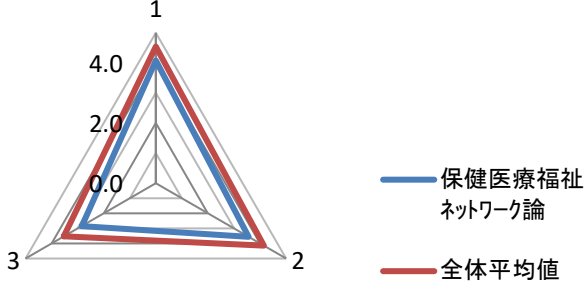
令和2年度第2学年後期「保健医療福祉ネットワーク論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
92	25	27%

実施時期(令和2年11月19日～令和3年2月19日)

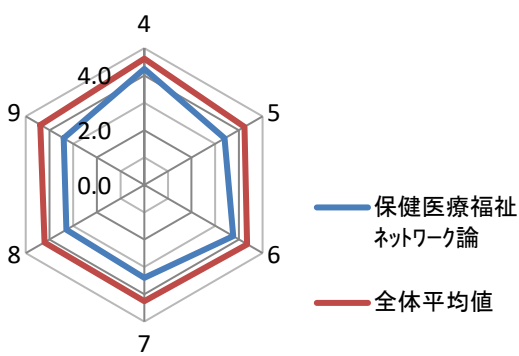
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	保健医療福祉ネットワーク論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.1	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.6	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	2.8	3.5	2.8	4.4

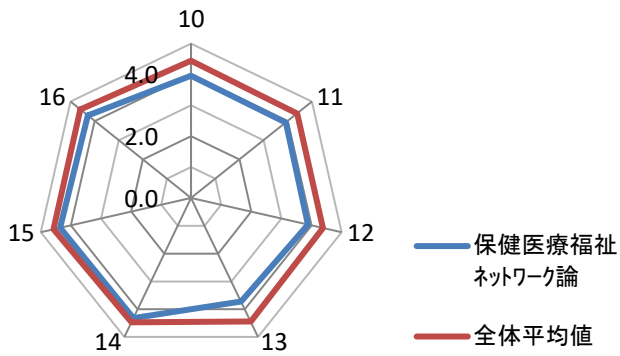
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	保健医療福祉ネットワーク論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.2	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.4	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.8	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	3.4	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	3.3	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	3.4	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	保健医療福祉ネットワーク論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.0	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3.9	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.9	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	3.7	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.3	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.3	4.6	3.7	4.9

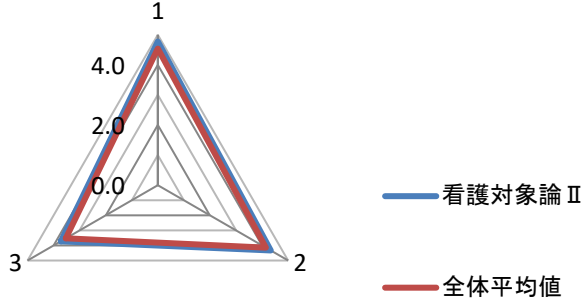
令和2年度第2学年後期「看護対象論Ⅱ（疾病の回復過程）」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
97	18	19%

実施時期(令和2年12月24日～令和3年2月19日)

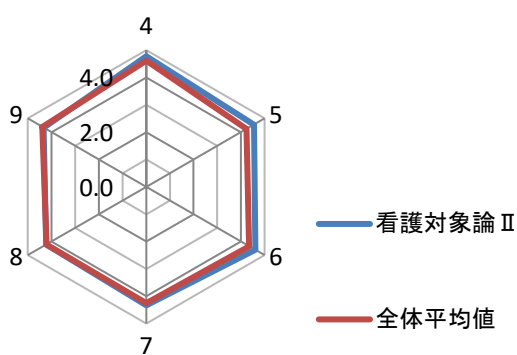
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護対象論Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.7	3.5	2.8	4.4

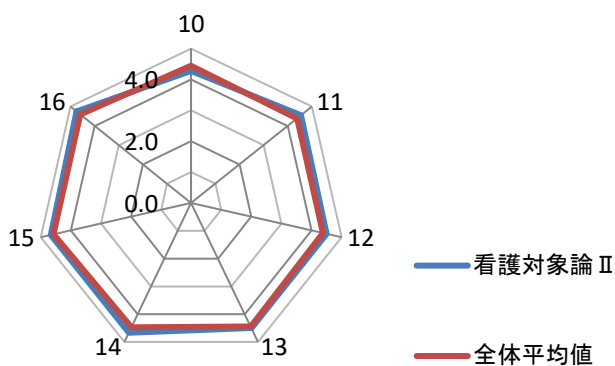
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護対象論Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.2	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護対象論Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.6	3.7	4.9

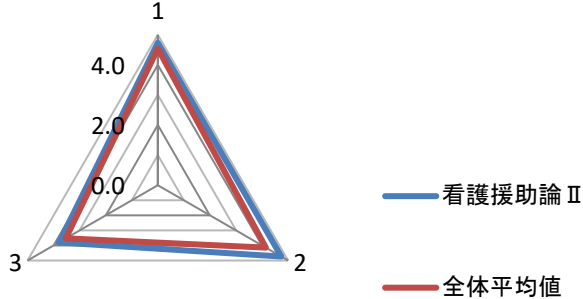
令和2年度第2学年後期「看護援助論Ⅱ（看護過程の展開）」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	19	20%

実施時期(令和3年1月7日～令和3年2月19日)

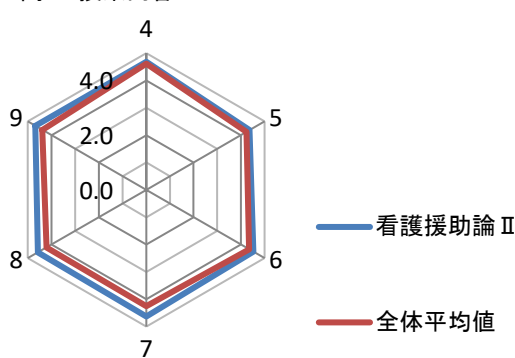
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護援助論Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.7	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.8	3.5	2.8	4.4

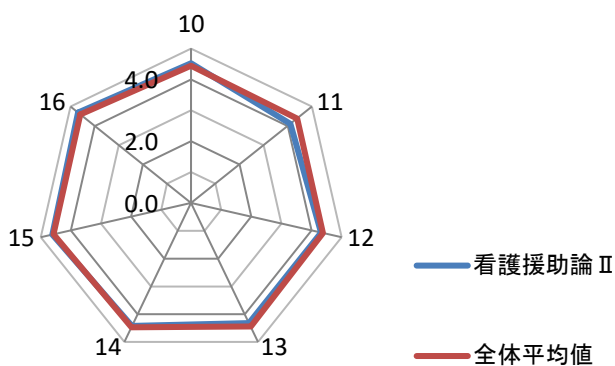
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護援助論Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護援助論Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.1	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.4	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.6	3.7	4.9

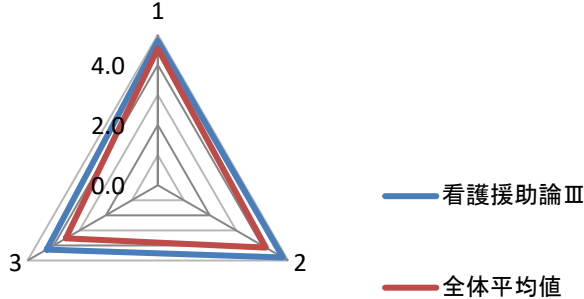
令和2年度第2学年後期「看護援助論Ⅲ (EBN)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	15	16%

実施時期(令和3年1月14日～令和3年2月19日)

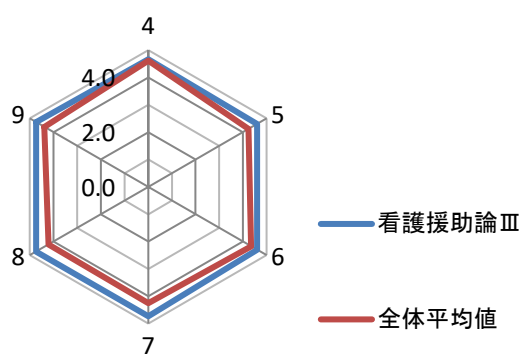
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護援助論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.3	3.5	2.8	4.4

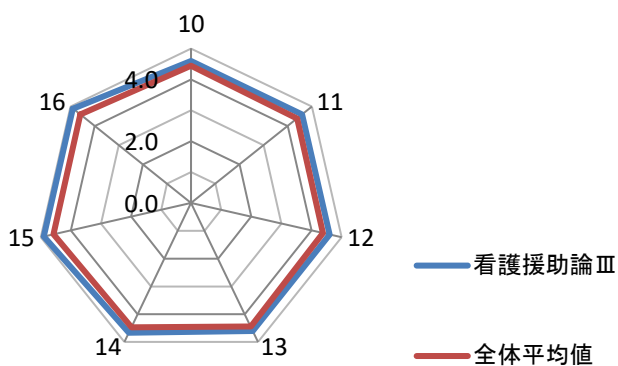
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護援助論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護援助論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.6	3.7	4.9

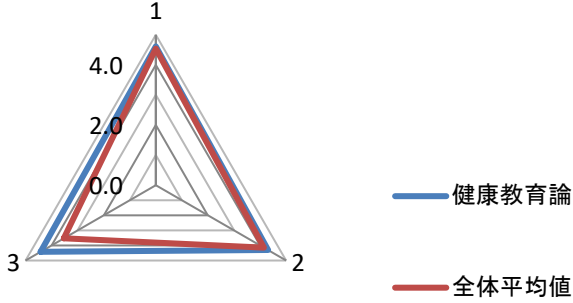
令和2年度第2学年後期「健康教育論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	26	28%

実施時期(令和2年11月24日～令和3年2月19日)

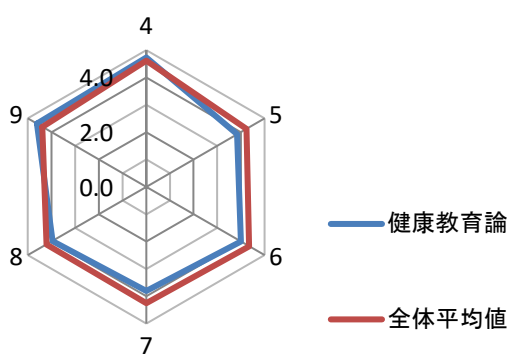
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	健康教育論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.4	3.5	2.8	4.4

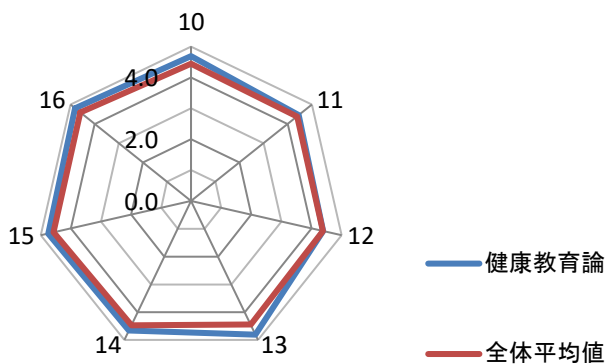
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	健康教育論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.8	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.0	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	3.8	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.0	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	健康教育論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.6	3.7	4.9

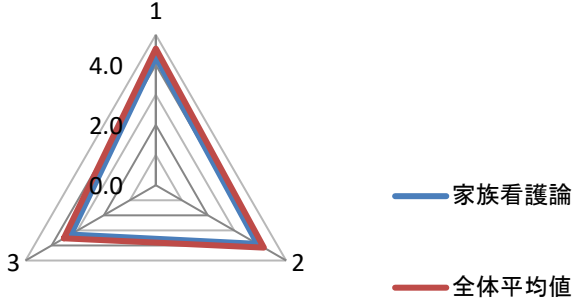
令和2年度第2学年後期「家族看護論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
83	19	23%

実施時期(令和2年11月24日～令和3年2月19日)

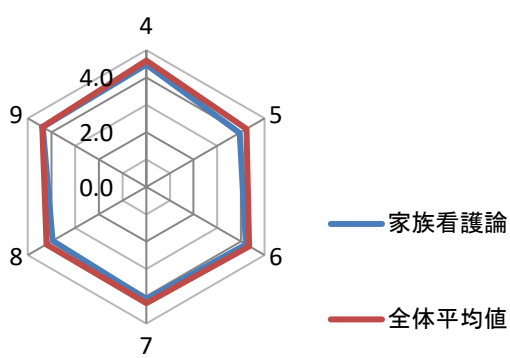
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	家族看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.3	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.3	3.5	2.8	4.4

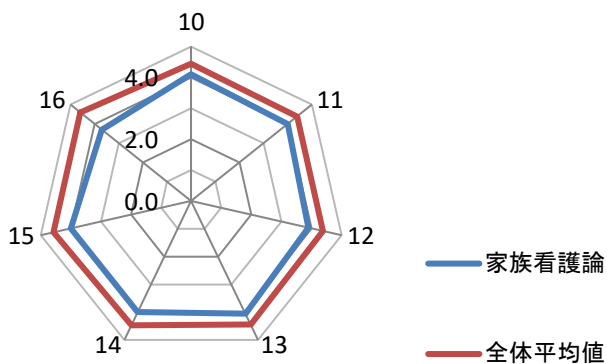
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	家族看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.9	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.2	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.1	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	3.9	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	家族看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.1	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.0	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.9	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.1	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.0	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3.7	4.6	3.7	4.9

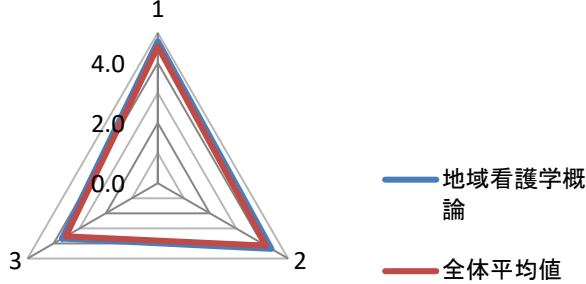
令和2年度第2学年後期「地域看護学概論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
98	25	26%

実施時期(令和2年12月24日～令和3年2月19日)

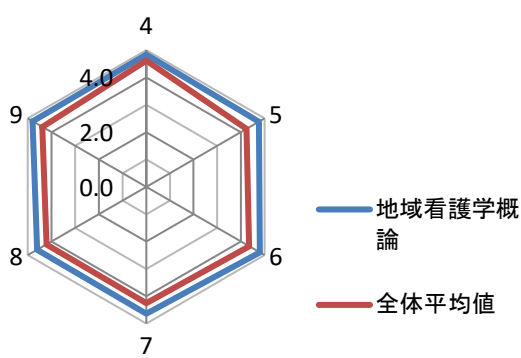
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.4	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.7	3.5	2.8	4.4

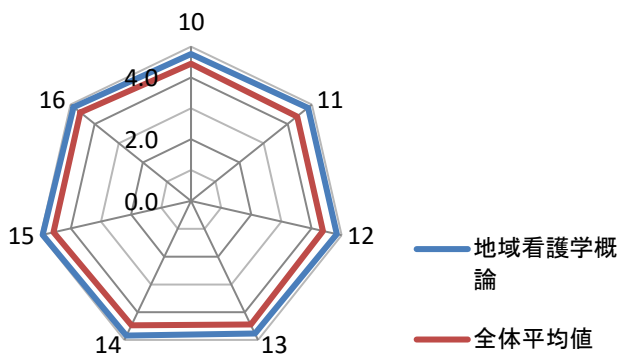
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	地域看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	地域看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.6	3.7	4.9

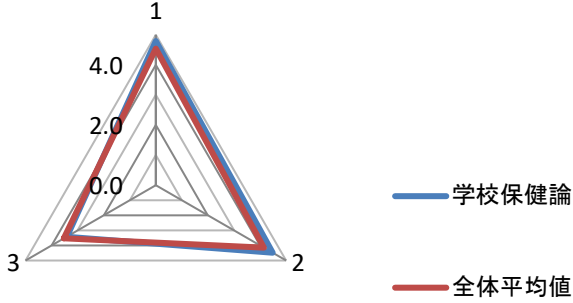
令和2年度第2学年後期「学校保健論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	29	33%

実施時期(令和2年11月13日～令和3年2月19日)

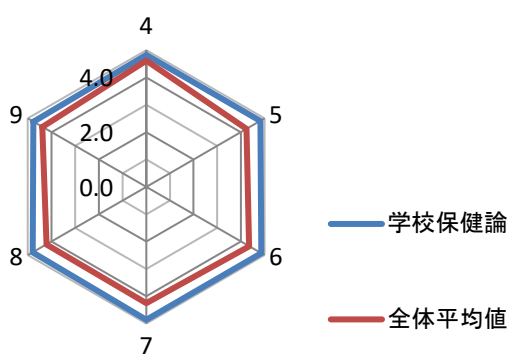
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	学校保健論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.4	3.5	2.8	4.4

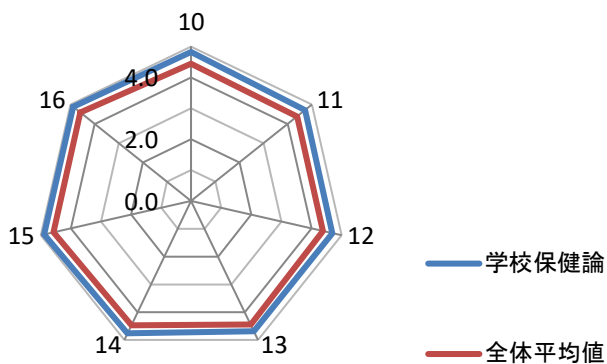
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	学校保健論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.9	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	学校保健論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.6	3.7	4.9

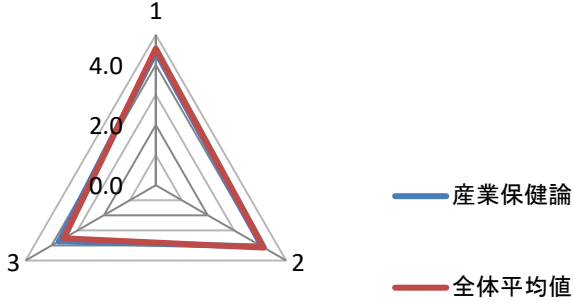
令和2年度第2学年後期「産業保健論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
90	14	16%

実施時期(令和3年1月8日～令和3年2月19日)

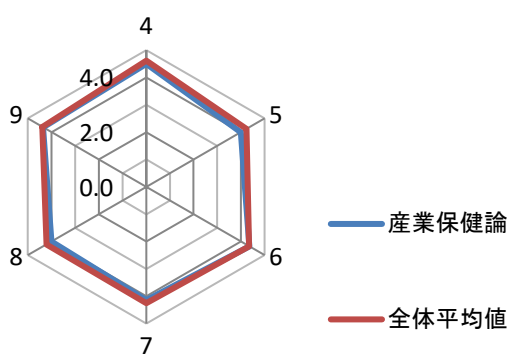
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	産業保健論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.4	4.5	3.7	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.1	3.1	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.7	3.5	2.8	4.4

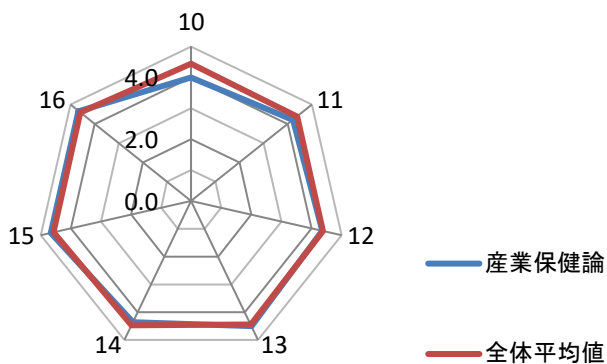
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	産業保健論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.6	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.2	3.4	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.4	4.3	3.3	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.1	4.3	3.4	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.0	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.4	3.4	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	産業保健論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.0	4.4	3.9	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.2	4.4	3.9	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.4	3.9	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.4	3.7	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.4	4.5	4.0	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	3.8	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.6	3.7	4.9

令和2年度第4学年通年「生涯学習特別講義」授業評価結果

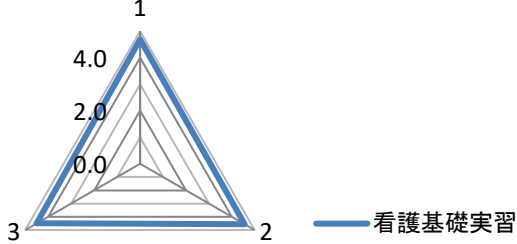
令和2年度第2学年通年「看護基礎実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
89	68	76%

実施日(2021年3月5日～8日)

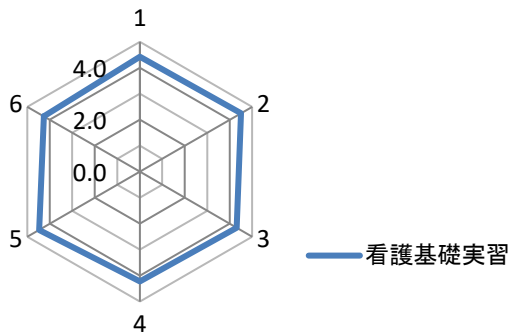
問1. 学生自身の実習への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	看護基礎実習
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.5

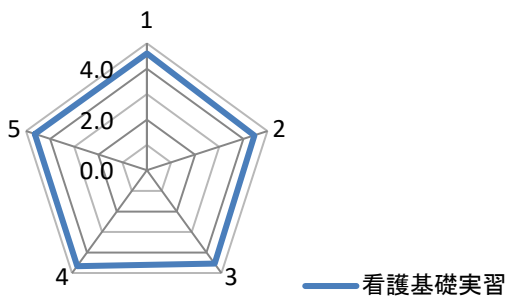
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	看護基礎実習
5 学習目標を達成するために多くの学修体験が得られた。	4.4
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.5
7 実習記録は学修を深める上で効果的であった。	4.3
8 課せられた実習記録や課題の量は適切であった	4.2
9 看護への興味や関心が高まった。	4.5
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.3

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 指導体制・学習環境について

	看護基礎実習
11 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.6
12 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.5
13 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.5
14 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.7
15 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	4.6